

山行トピックス

2012/10/19～23 関東の山々へ

最速と最長記録！！？？

初日はa m 3：30の出発だった。起床時間はa m 2：30で前日の寝る時間をどれだけ確保したかが、その日の山行の体調に影響する。幸い筑波山は低山で皆さん快調に山を登って下山した。

10年前の海上を思わせる速度だった。

この日はアプローチと下山後の移動距離を合計すると600km以上だった。

最長の移動距離か！！

あの山は？

男体山を下山後、車で5分と近い幸の湖ホテルに泊まった。翌日は観光の予備日で早朝から華厳の滝見物に徒歩で出かけた。

街路樹は紅葉し、右手は中禅寺湖、左には朝日に紅葉が映える山が見えた。その時「あの山は？？！！」とT氏．．．同行した皆んなは一瞬(;_;)

勿論その山は昨日苦勞して登った男体山だったのですが．．



ごちそう！！

泊まった宿は4軒どこも皆良かった。宿選びの皆さんありがとうございます。

登喜和旅館

筑波山から高速を2時間、到着したときはすっかり日が落ち回りは真っ暗、翌日の弁当買い出しに立ち寄ったコンビニの明るさが嬉しかった。食事時間を遅れた到着時間に合わせ30分ずらせてもらう事ができたし、暖かい焼き魚（あゆ）も出てきた。値段を考えれば充分すぎる食事だった。



登喜和旅館の夕食

幸の湖ホテル

ホテルの前の駐車スペースは6台、ドアを開けて出るのもやっとのスペースに駐車した。看板に部屋食を売りにした宿で7人では広すぎる程の大広間での夕食だった。魚は鱒の塩焼き、そして日光では”ゆば”とこの日も美味しくいただいた。

夕食の後ちょっとした論争があった。”体の小さな女性は山登りに不利か？”という話題であった。女性は体が小さい！ だから男性より山登りは大変！



幸の湖ホテルの夕食

かよわい女性ををいたわって！！ というT氏の意見に私が”女性が弱い”は一般論！と言うと、猛反発をいただいた。私も確かに大きな段差を越えるのは体が小さく、足が短いと大変だと思う、でもそれだけで本当に山で不利か・・・と思ったがそれ以上ムキになってもと、引き下がった。

後程おもしろいHPを見つけたので本文の「[小さい人は登山に有利](#)」のリンクをご覧ください。
かつら荘

ペンション風(ペンションとはどんなものか知らないが、)の洒落たづくりの宿だった。吹き抜けのホールには一階、二階にゆったりしたソファが置いてあった。夕食はゆばのサラダ、鍋と美味しく頂いた。ゆばはこの地方の名物でも土産物としては見つかりませんでした。



かつら荘の夕食



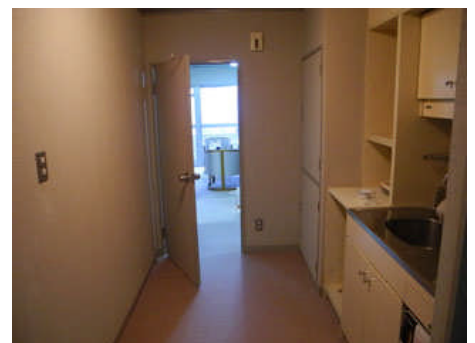
猿ヶ京温泉ホテルシャトゥ猿ヶ京

常連になったのか泊まった部屋は年数はたっているが、最上階の広い部屋を割り当てていただいた。

自炊で長逗留もできるのか、立派なキッチンがついていた。

ベット2と六畳の部屋ソファも有るダイニングルーム、トイレ、バス付きだ。

ここで3人は広すぎた。女性の部屋はもっと広がったそう。



キッチンと奥のリビング

食事は朝夕ともバイキング！

夕食はカニの食べ放題がついていた。

同行の皆さんはカニを食べ慣れているのか手際が良かった。

私は写真のカニを一回文お代わりしたが食べきれなかった。眼鏡のせいで身を掻き出す手元がよく見えなかった。おなかがふらんくると最初の勢いはどこえ行ったか！さばくてが止まって食事終了となった。次はカニだけにしとこっと！（^_^）v



夕食バイキング



朝食バイキング

カウントダウン

Uさんは百名山登頂達成へカウントダウンがはじまっている。

筑波山、男体山、白根山共に快調に登っていた。

目的意識と日頃の鍛錬の賜物でしょうか！

下りでは年下の私は彼女の後に着いてゆくのがやっとだった。

今回で残すはあと3山、来年で達成予定だ。



いろは坂 - 紅葉

この文をかいている11/2日（金）日光いろは坂の紅葉が盛りと言うNHKニュースが聞こえてきた。私達が行った時は男体山の3合目付近から4、5合目あたりのカラ松、ダケカンバ、ドウダン、ブナなど赤も入った鮮やかな紅葉が青空に映えていた。いろは坂はまだ早かったが、観光した戦場ヶ原、竜頭の滝は充分たのしめた。

メルヘン街道では夕陽で錦に輝く山肌をドライブして猿ヶ京温泉へいった。

健康の事

今回の山行に同行の皆さんは皆私より年上だ。最近思うのは年を重ねて生きて行く事はそれだけで大変な事であると。健康で長生きしていれば尊敬に値する程素晴らしいと思ったのです。

会社の健康診断で心電図が異常で要検査となった。

一時この山行が危ぶまれたが、医者を変わったりして検査を受けつつもなんとか参した。

山行後治療を要すほどではないと判明して一安心している所です。

心臓や腎臓、肝臓の老化は訓練で食い止められるのだから？

遺伝子の力で決まってくるのだろうか・・・

これから毎年自分の体と相談しながらの山行となると思っています。

b y ya